

時事新報の五月附録

時事新報社は我邦西洋書報の進歩を世人に紹介し且は其道の奨励に供せんが爲め東京府下に於て此道に名ある大家十二名を撰び各家の所長に從て十二箇月を割當て其月に因る撰稿を請ひ之を極美極麗の彩色石版にて印刷し毎月初旬新報の附録として購讀者に配布する事とし本年四月を以て始め來年三月に至るの趣向にて其第一回は去月五日を以て發行し世人の大喝采を博したり其第二回の發行は愈々

當月九日

松岡壽氏の挿秧

にして田家の婦女挿秧に忙しく一少女時に首を廻して遙かに望む所あるの状、寫し得て眞に迫る此畫に對すれば身は忽ち田間に入りて耳に秧歌の聲細々たる響あるべし

當日の時事新報は臨時の購讀者より五錢(東京市外は此外に郵税一錢)を受受くべし又當日は臨時に紙數を増刊するを以て印刷上の都合あり廣告の申込は來る當月七日を期限とす

時事新報

教育制度の改正

近來地方より都下に遊學する學生の減少したるは單に私立學校のみならず官立學校に於ても一般に見る處の事實なりと云ふ學生の増減性しむに足らざるが如くこれをも仔細に觀察すれば教育に對する一般の思想漸く變遷を催はすに至りたる徵候として認むべきが如し抑も今の教育制度は西洋諸國に行はるる高尚の組織を直に採用したるものにして我國情に適せざるは明白なれば彼の士族と名くる一流は年來學問の素に乏しからず一般の人民に比すれば全く智識の度を異にするが故に高尚の教育に遇ふて群居せざるのみか此教育に養成せられて立身の資を成し何れも相應の地位を得て報酬さへ薄からず昨日の寒貧學生、今日の官吏紳士意氣揚々たる者も多ければ俗界の俗情自から羨望に堪へず苟も立脚の地歩を作りて名を成し功を立んとするに非ざるも高尚の教育を受けざる可らずとて滔々風を爲し富豪大家は申すに及ばず中産以下の者にても傳來の資産を賣却し又は借財する等無理算段して子弟の教育に錢を愛しまさざれば從來一般の有様にして自から府下に於ける官立學校の旺盛を致したる次第なればも擬て實際の事情を顧みれば官途などの地位は限りなき人を容る可きに非ず數に於て明なるのみならず或は近年來實業社會は著しく發達して智識學問を要するの範圍を廣めたりとは雖も如何せん其教育は事業の實際と相協はざるが故に實業の門廣きも入門の路甚だ難く結局多年辛苦の結果たる學問智識は實際の難に臨んで實用に爲さず新進の青年空しく大志を抱て無聊に呻吟するもの多き始末なるよりして教育に對する一般の態度漸く冷却して地方の父兄たるものも子弟を教育するに多少躊躇の念を起し擬て學生減少の結果を見るに至りしものならん蓋し士族流の眼より見れば現今の教育制度は左まで高尚のものにあらざり雖も廣

雑報

く一般の民度に徴するときは學科の繁雜高尚に過ぐるの嫌あるは實際に掩ふべからず即ち前にも述べたる如く今の教育制度は西洋流を其まじり模倣したるものにして既に國情との釣合を失するの事實明白なる上は宜しく其組織を一變して程度を低くし單に高尚なる學者を造るものと勉めず廣く有用の人物を養成するの目的を以て平易實質を旨とするものと肝要なる可し若し然らずして今日の有様に安んずるが如きあらんには學問はますます實際に遠かりて徒に無用の長物を造るの權介と爲り遂に天下父母の心を以て子を學校に傷むを恐れしむるに至る可し知れ切つたるものとされども當局者は尙ほ其邊に思至らざるが如くも改正とあれば制度の取調に着手し或は委員會の調査を設るなど頻りに準備を乙甲にして實際の成績を擧るに迂なるは毎度實驗する處なり畢竟其源因は標準を誤るに外ならずされば當局者にして自から悟らず多年來の舊思想を以て教育に對する間は幾たび改正を試みるも唯徒に不具の制度を粉飾する迄のものとにして到底改良の効果を收むべからず要するに實際の事情を酌み標準を一般の智識と民度に取つて事の根柢より一新するの外なしと我輩の斷じて明言する所なり

鐵道會議

は愈々明後三日の午後一時より例の如く逓信省構内舊大臣官邸に開く筈にて提出議案の順序は既に整頓し居れりといふ

岡山縣の出水

岡山縣高梁、旭二川の出水せしむるとは過日の電報欄内にも掲げたが其詳細を聞くに岡山市にては去る二十四日の夜より非常の大雨にて翌二十五日に及びては益々烈しく午後五時に至るまでは小止みもなく降り續き旭川は連日雨量漸く増して午後六時頃に至りては八尺二寸の増水を示し雨は止みたれども水は益々高く午後七時過ぎよりまた大雨となり翌二十六日午前三時頃には雨に加へて雷鳴さへ烈しく朝に至りて漸く歇みし水は益々加はり午後八時頃より京橋の假橋は危険なるより通行を遮断したるが十二時頃に至りて竟に同橋は二箇所陥落し水量は午後十一時三十分最高點にて一丈一寸五分を示し翌午前二時十分は干汐なるも尙ほ九尺九寸五分を示したり又鶴見橋も夜に入りては通行を遮断したれば東西の往來全く絶之家に歸らんとして歸り得ざるなどありて混雜は一方ならず翌二十七日に及びて漸く船を出して通路を開くを得たり元來假橋は去る二月中竹筏を橋杭に引掛け損所を生じたるまゝ修繕を加へざりしより竟に同所より破壊するに至りしなり又兵團、中石町、下石町等前年の洪水に堤防を欠壞されたる場所の人民はまたまた災害を蒙らんかぞ殊の外畏れを抱き家財を取片付け水防の準備をなし居たるも水量は次第に減少して堤防も先づ破壊を免れたり其他旭川筋の諸村落は何處も一丈餘の水量に達したるより各地でも警戒を加へ上道郡宇野村等一ノ荒手などに於ては幾んど堰堤を越し切らんとし此上六寸も嵩みたらんには溢れて百間川に入り氾濫すべき模様なりしも幸にも漸く減水したり此他尙ほ一二尺も増したらんには忽ち決潰すべかりし箇所も砂からず上道郡澤田の河内の知きは雨水溜溜して一面に海の如くなりたり高梁川にては去る二十六日午後九時過には既に一丈四尺の出水となり殊に西高梁川

に沿へる淺口郡甲内村大字片嶋柳井の假堤防は九時二十分頃長さ四十餘間程決潰し甲内、西阿知、西ノ浦、龜嶋、連嶋、窪屋郡中洲河内諸村は一面に海となり甚しき箇所は一丈三尺の水底に没せり尤も去る二十七日朝までの處にては人畜に別條なかりし猶ほ右の堤防決潰の爲め山陽鐵道の線路は倉敷驛と玉嶋驛との間一哩ばかり浸され列車不通となりたりと云ふ

山陽鐵道の水害

去る二十六日は又も岡山縣下に大雨降りて山陽鐵道線路中水害に罹りたる處ある由は此程の電報並に別項にも掲げあるが今國鐵協會社が去る廿七日付にて發したる報告を見るに左の如し(前略)昨日晝夜の風雨にて倉敷、玉嶋兩驛間にある東西高梁川の中間、線路凡そ六十餘浸水し列車不通となりたれば差向き船を以て乘客を東西の列車に接続するの便利を謀りたり但し水害は左迄多量ならず總路の損害も輕微なり云々

本年三月中海外輸出入統計

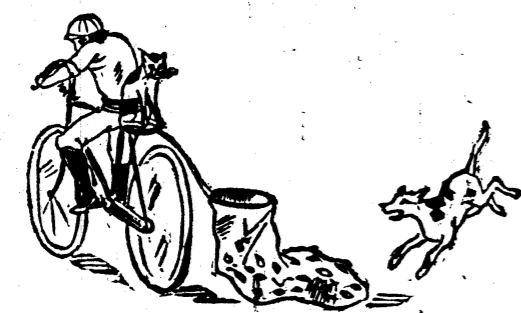
大藏省主税局の調査に依れば本年三月中我が邦より海外各國へ向け輸出したる玄白米の數量は合計二十六萬六千五百三十三担(凡我十萬六千六百二十二)此原價九十八萬五千八百七十七圓六十一錢にして同月中に玄白米の我が邦へ輸入せし數量は合計四十七萬三千二百二十二擔(凡我十八萬九千二百八十四石八斗)此原價百七十七萬二千五百七十四圓なり左れば差引輸入の輸出に超過するものと二十萬六千六百八十二擔(凡我八萬七千七百七十三石八斗)此原價十八萬六千六百九十九圓九十九錢なりと云ふ今之を各港に區別すれば左の如し

Table with columns for port names (神戸, 大坂, 横濱, etc.) and numerical data for exports and imports.

紡績糸不味の原因

素人に賣崩さるる) 過般百圓以上の直を現はしたる紡績糸が近頃に至り八十圓に陥り一捆に付十五圓方も低落したる原因は一口に云へば餘り暴進したる其反動にして實際百圓以上の相場は本氣の沙汰とは思はれざりしかども併し其當時は非常品不足にて買ひさへすれば儲かるると云ふの有様なりしかば黒人筋は何れも深入りして定期物等を買進みそれには又提灯を付けて買立つる連中も妙からざりし次第なるが折節各地農業者が漸次繁忙の時節となり紡績糸の需用は段々

法新の捕犬



紀泉鐵道



Vertical text on the far left margin containing various notices and advertisements.